

次の事項について取りまとめを行うことで、関係者の飲酒運転防止に向けた取組を促進

1. 呼気吹込式のアルコール・インターロック装置の技術指針案

自動車に任意に備える場合の技術指針案を策定

今後、政府として実施する常習飲酒運転者の飲酒運転行動抑止に係る調査研究の検討状況や各種検証等を踏まえて最終化

→ 任意装備車両の普及・促進を期待

常習者対策として活用する場合の追加的要件を特定

→ 常習者対策での活用方を引き続き検討

(呼気吹込式のアルコール・インターロック装置)

アルコール・インターロック装置



2. 呼気吹込式以外の飲酒運転防止技術

技術開発の方向性を提示

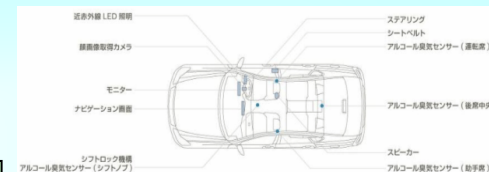
→ 新技術の開発促進を期待

他システムとの連携方策等を提示

(イ) 顔画像とアルコール検知器等を遠隔モニタする運行管理システムと、盗難防止対策などで活用されている遠隔操作でエンジンをロックできる装置を併せて使用するアイデアを提示

(ロ) 本人確認が難しい臭気センサーをトラック車室内で早期実用化するなどのアイデアを提示

→ アイディア提示による早期実用化を期待



(日産で開発中の飲酒運転防止コンセプトカー)

3. その他

装置の普及のため、ニーズ等を踏まえながら、適合品をユーザーが容易に識別できるよう、装置の認定制度などの構築について検討